

奉祝記念事業協賛趣意書

小石川大神宮創立五十周年

予てより敬神崇祖の念篤く、伊勢神宮総代の要職にあつた佐佐木勝造翁の主唱によつて皇室、国家の御安泰、国民とりわけ崇敬者の方々の幸を祈念するため伊勢の神宮より、特に特別御神璽（おおみしるし）を拝戴、神宮の遙宮として称え奉る小石川大神宮を御創立、御鎮座祭を斎行申し上げたのは去る昭和四十一年三月七日のことであります。

爾来星霜五十年を迎えたとし広大無辺の御神徳愈々赫々御社頭益々御隆昌になりますことは洵に有難き極みであります。就きましては、来る平成二十八年三月七日御創立五十周年の目出度き例大祭を斎

小石川大神宮創立五十周年奉祝事業計画

事業計画予算額 金 二千万円也

司內

記念大祭斎行

鳥居新規設置事業（月読宮鳥居の遷宮古材拝領による新造）  
記念誌刊行（小石川大神宮五十年のしおり）

本殿御調度新調  
祭器具、裝束等新調

坊內整修事業

尚御協賛金は、一口金、壹千円也（なるべく三口以上）としてお願い致した  
く、又より多くの方々に御協賛願う為、御家族等のご芳名を賜われば幸いと存じま

小石川大神宮

創立者後繼  
宮司佐佐木

責任役員  
崇敬會會長

卷總

總編  
代序

總代

總 總

卷之三

三

佐々木

白清  
石水

相鈴  
馬木

寺鶴  
本岡

福仲  
田佐

市藤社

船本  
奇田旅

山元嶠

(五  
十

世  
話

佐佐佐佐佐北上加柏岡大梅内井池荒阿  
佐佐々々佐  
木木木木木 條藤木戸友原田田崎井部  
美恒 キ 忠康勝重和 久隆惠秀常人  
代 リ 子子敏工功孝彦晴造夫夫晃雄一子雄夫